

3 年生学年便り



実力テスト講評

はじめての実力テストは、どうでしたか？範囲がないので、定期テストの時とはずいぶん違う結果になってしまった人も多いのではないのでしょうか？その結果はちゃんと受け止め、これから努力をしてください。大きくジャンプしよう！



実力テストの講評です。

教科	講評
国語	問題文に「抜き出さない」という表現があれば、句読点も含めて文字数を確認し、正確に解答欄に抜き出しましょう。最後の見直しも大切です。今回時間が足りないと感じた人もいたのではないのでしょうか。国語のテストは解ける問題から解いていくことを心掛け、点数アップにつなげましょう。
社会	第一回実力テストお疲れ様でした。テスト前にどんな問題が出るのか、どの範囲が一番よく出るのか、など聞きに来てくれる人が多くいて皆さんの不安や緊張を感じていました。地理と歴史、覚えることは多いかもしれませんが、つながっていることが多いです。関連付けて覚えていきましょう。
数学	全範囲からの出題でした。中には難しい問題もありましたが、多くは基本的な問題でした。1、2年の知識があやふやになっている人が多かったように思います。計算の力ももちろん大切ですが、合同条件など覚えなれないことについては正確に覚えましょう。
理科	1、2年生の範囲からの出題で、忘れていたものも多かったと思います。テストの結果を見ると、生物と地球分野は答えられている中、物質とエネルギー分野の二ガテ感がはっきり表れていると思います。目に見えずイメージが大切な分野なので、暗記するだけでなく、なぜそうなるのかが説明できるかが理解の分かれ目だと思います。時間のかかることと思うので、毎日コツコツ勉強して下さいね。
英語	1年生～最近学習した現在完了、間接疑問文まで範囲が広くて内容は多岐に渡り、難しく感じた人もいたと思います。文法もその時は理解したのに、単語や連語も一度はスペルを正確に覚えたのに、忘れてしまっていた…という人、いたのではないのでしょうか。人間は忘れる動物です。しかし、一度理解していたら、一度覚えていたら、もう一度確認するのに時間は短縮されるものです。それでもまた忘れた…。それなら

また確認し直す。覚え直す。その繰り返しで確認する時間はどんどん短縮され、やがて知識となって定着していきます。どの教科もそうかもしれませんが、特に語学はその粘り強さが求められます。Never give up! (決してあきらめないで！)

もう一つ。問題に慣れること。例えば長文を時間内に読み込んだり、「ほぼ同じ内容になるように」別の表現で言い表せるか、正しく語形変化できるか、など英語の問題のパターンがいくつかあるので、慣れることが大切です。問題に数多く、そして同じ問題でも間違えたところを中心に、何度も解いてみることで自身の中にインプットされます。一気に伸ばすというのは難しいと思います。しかしやった分必ず伸びます。自分を信じて頑張ってください。

勉強の仕方がわからない!?



実力テストのあった5教科の先生から勉強の仕方のアドバイスです。

教科	勉強の仕方 アドバイス
国語	国語のテストは、説明文や物語文の読解だけではなく、古文や漢文の知識も問われます。これまでの授業で習ってきたことをしっかりと復習しておきましょう。また、文法の知識や言語に関する問題も出題されますので便覧も参考にしましょう。
社会	社会科は覚えるだけでなく資料やグラフの読み取りも大切です。できるだけ多くの資料に触れていきましょう。
数学	どんな難しい問題でも基本ができていないと解くことはできません。「3年間の総まとめ」にはこれまでの範囲がすべて載っています。自分の苦手だと感じている範囲を集中的に頑張ってみましょう。勉強の多くは積み重ねです。コツコツと頑張らないと本当の力はつきません。しっかり時間をかけて取り組みましょう。
理科	3年間の総復習を何度も解き直す、苦手分野を見つけてノートまとめをする など
英語	範囲が広く何から手をつけたら良いのか悩んだ人もいたかもしれません。①まず基本的なところから「月」「曜日」「数字」「季節」のスペルの確認。その他1年からの単語連語のスペルと意味の確認。②そして若干2割程度出題すると言いましたが、1・2年生の復習にもつながります。『ぎゅぎゅっと』を大いに使って勉強してください。第2～4回の実力テストも同じく2割程度出題されます。その時指定されたところ以外もどんどん活用して予習・復習に役立ててください。

※この「3年生学年だより」は「豊中市立第一中学校ホームページ」からもご覧いただけます。